

子どもたちと話そう！

～新型コロナウイルスに関する偏見や差別のこと～

新型コロナウイルス感染症が全国的に拡大し、先の見えない状況や感染に対する不安から生じる、感染者やその家族、感染症に関わる人などへの心ない言動が見受けられます。

今、私たち一人一人には、感染者などを排除するのではなく、感染予防に努めながら、互いに助け合い協力し合うことが求められています。子どもたちが感染症に対する正しい理解のもとに適切な行動ができるよう、保護者のみなさまも、新型コロナウイルスに関する偏見や差別の防止について、子どもたちと話してみましょう！

思いやりの気持ちを言葉にする

新型コロナウイルスには誰もが感染する可能性があり、感染者やその家族が悪いわけではありません。

子どもたちには、感染者を思いやる気持ちや医療従事者などへの感謝の気持ちを育めるような声かけをしましょう。



クラスの友達が感染したんだってね。大丈夫かな？早く良くなって、学校に来てほしいね。



感染した友達の家族も心配だろうね。私たちに何かできることはないかなあ。



医療従事者など、感染リスクがある中で頑張ってくれている人たちに感謝しないとイケないね。

新型コロナウイルスや感染者について話すとき、私たち大人が発する何気ない一言が、子どもたちの差別的な発言や態度につながる可能性があります。気をつけたいですね。

正しい情報を子どもと共有する

インターネット上に広がるデマや不確かな情報に振り回されないようにし、信頼できる確かな情報を子どもたちと共有しましょう。



感染者の名前などの個人情報やSNS等で発信しないようにしましょう。

子どもの頑張りを認める

子どもたちは、制限された生活の中で、私たちが考える以上にストレスを抱えています。子どもたちの話に耳を傾け、日々の頑張りを認め、褒めてあげましょう。



悩み事があれば相談を

悩み事があるときは一人で抱え込まないで、学校をはじめ関係機関にぜひご相談ください。

電話教育相談「あすなるダイヤル」
0744-34-5560

奈良県教育委員会事務局 人権・地域教育課
0742-27-9858